



つつじの里づくりによる観光資源の維持管理

中間農業地域

ふもと たがや かのあしぐん つわのちょう
麓を耕す会 (島根県 鹿足郡 津和野町)

- 本地域は、津和野町中心から4kmの青野山山麓に位置する人口50人の中山間地域。ほ場整備(平成5～7年度)を契機に、棚田の法面につつじ1万本を植栽し、農業と美しい田園景観の形成・保全による集落の維持・活性化を図っている。
- 平成19年度から農地・水・環境保全向上対策に取り組み、農道や水路の保全管理のほか、つつじの植栽等を集落をあげて行うようになり、「つつじの里」としても知られるようになった。また、毎年つつじ祭りを実施し、県内外から大勢の観光客が訪れ、賑わいを見せている。

【地区概要】

- ・取組面積 7ha (田5ha、畑2ha)
- ・資源量 開水路2.0km、農道1.9km
- ・主な構成員 自治会、婦人部
- ・交付金 約0.5百万円(H29)

農地維持支払
資源向上支払(共同、長寿命化)

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、青野山の麓に位置し、「麓耕の棚田」として美しい石垣の棚田で知られていた。
- ほ場整備を契機に、石垣に変わるものとして、つつじを棚田の法面に植栽。
- 農地法面の草刈りやつつじの維持管理(剪定、植栽)に係る負担が増大。
- 高齢化や人口減少により、水路の泥上げや草刈り等の作業も継続が困難化。



本取組の対象農用地

取組内容

- 水路の泥上げ、棚田法面の草刈り、つつじの剪定や植栽などを共同活動として実施。
- 5月連休には自治会と連携し、津和野町役場、観光協会と共催で「つつじ祭り」を開催し、県内外から観光客を呼び込み。



農道補修



つつじの剪定

取組の効果

【集落の景観を向上】

- 水路・農道とともに、農地法面のつつじを適正に管理し、良好な景観を維持。「つつじの里」として知名度が上昇。
⇒ つつじの植栽 H10累計: 約1万本
H26累計: 約1万5千本

【地域の活性化】

- 毎年5月の連休の「つつじ祭り」に訪れる観光客が増加
⇒ H29実績: 約500人/日



つつじ祭りの風景